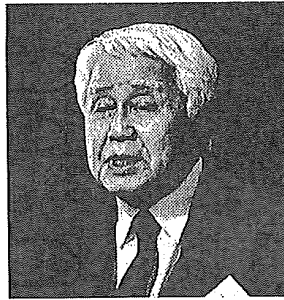
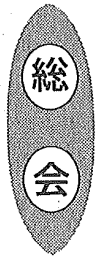


DX推進の環境作りを

建コン協九州

建設コンサルタンツ協会
（建コン協）九州支部（田



中清支部長）は18日、2023年度定時総会を福岡市博多区のオリエンタルホテル福岡博多ステーションで開き、22年度の事業報告などを承認し23年度の事業計画や予算を報告した。役員改選では理事に小澤修三氏（東九州コンサルタント代表取締役）、監事に愛敬圭二氏（中央コンサルタンツ

参与）を選任し、後藤正孝氏（復建調査設計執行役員九州支店長）を監事から理

事に変更した。

開会のあいさつで田中支部長は写真には23年度の活動では公共事業でのインフラDXの推進について「中小を含め全ての人が活用できる環境作りが大事になる」と話し、インフラDXデータプラットフォームの構築や直接経費の計上などを国に引き続き要望する考えを示した。

事業計画によると23年度は発注機関との意見交換会やオンラインによる講習会・セミナーの開催などの活動を行う。8月下旬に事務所を移転。9月1日に現地本部として本部と連携した防災訓練を実施する。12月2日に夢アイデア交流会の開催などを予定している。